

修道学園(中・高)  
同窓会会報誌

# 第90号

令和6年9月1日発行

## CONTENTS

- 01 会報誌の発行にあたって  
会長 深山 英樹(高12回)
- 02 支部活動報告
- |  |                |
|--|----------------|
| 関東支部   | 菱川 哲行(高32回)    |
| 03 近畿支部  | 河本 浩二(高45回)    |
| 04 近畿支部  | 有馬 昌宏(高24回)    |
| 九修会  | 石本 俊亮(高27回)    |
| 05 東部修道会                                       | 佐藤 裕紀(高28回)    |
| 06 東部修道会                                       | 山崎 義明(高41回)    |
| 06 江能修友会                                       | 美濃 英俊(高42回)    |
| 修道医会   | 松本 正俊(高42回)    |
| 07 広島修道歯科医会                                    | 毛利 雅哉(高31回)    |
| 08 広島市修道会                                      | 長田 開(高67回)     |
| 09 同窓生だより                                      |                |
| 新見先生との出会い                                      | 高瀬 正則(高9回)     |
| 修道十日会 卒業六十六周年同期会                               | 池本 章(高10回)     |
| 10 関東修道イチサン会 第50回記念懇親会模様                       | 中道(奥窪) 昇(高13回) |
| 11 修道第15回卒業生傘寿を祝う会の報告                          | 土井 和士(高15回)    |
| 修道高校16回卒業60周年記念同期会                             | 厚井 範彦(高16回)    |
| 12 安芸の宮島「たまげたチキンカレー」                           | 阿部 年雄(高17回)    |
| 14 「修道高校23回生卒業50周年&古希記念同期会」のご報告                | 山下 江(高23回)     |
| 15 ワンダーフォーゲル班と藤田先生の思い出                         | 中村憲二郎(高41回)    |
| 16 高校67回同期会(同窓大会決起大会)                          | 坂本 匡弘(高67回)    |
| 17 修道学園同窓会連合会・修道学園(中・高)同窓会<br>事業報告並びに収支決算、収支予算 |                |
| 21 トピックス                                       |                |
| 本館建替等工事進捗                                      |                |
| 修道中学校・修道高等学校創始300周年特設サイト<br>(ホームページ)のご紹介       |                |
| 22 同窓会ニュース                                     |                |
| 新本館建設(ご寄附のお願い)                                 |                |
| 23 事務局だより                                      |                |

修  
SHUDO  
道

## ..... 第 90 号同窓会会報誌の発行にあたって .....



同窓生の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度の同窓会会報誌第90号の発行にあたりましては、各方面より多大なるご協力を賜り無事発行の運びとなりました。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。この会報誌が同窓会と同窓生の、また、同窓生同士の情報交換・情報発信の一助となれば幸いです。

さて、昨年5月に新型コロナウイルス感染症も5類感染症へ移行し、コロナ禍以前の形態での同窓大会・支部総会の開催等、3年ぶりに対面での同窓生の交流の場が多数設けられ、改めて制限のない同窓生同士の交流の場の大切さを強く感じました。また、学校運営につきまして、現役生はもとより、教鞭を執られる先生方は、時代の変化に適應する力を育む教育をはじめ、創意工夫されておられると伺っております。

母校は、1725（享保10）年の広島藩「講学所」創始以来、300年も目前にせまる299年に及ぶ歴史と伝統がございます。『修道学園創設300周年事業 修道中学校・修道高等学校本館建替等工事 ご支援のお願い』について、同窓生の皆様からの寄附額は2億円を超え、総額では2億4千万円を超えたと聞き及んでおります。同窓生をはじめとした皆様の、母校への熱い思いを感じられる、多大なるご理解とご協力は、この上ない慶びであり、厚く御礼申し上げます。

創始300周年に向け、我々修道学園（中・高）同窓会が母校を助け、更なる発展に寄与すべく、活動を充実していかねばと決意を新たにいたしております。また、来る2025年度同窓大会は創始300周年記念同窓大会とし、母校と同窓会の繋がりを強める機会を計画しております。会員の皆様には、変わらぬご支援を賜りますよう、宜しく願いいたします。

修道学園（中・高）同窓会 会長 深山 英樹（高12回）

2024年

## 関東支部のつどい開催報告

関東支部

菱川 哲行（高32回）

2024年7月8日（月）に東京ドームホテルにて、2024年「関東支部のつどい」を開催しました。

本年は「コネクション」を掲げ、学生／若手の参加を常態化するべく、職業別に10種類に仕分けし、疑問／悩み／質問を先輩に伺い、気づきに繋げられる機会を設け、「修道の絆」を「縦」にも紡いでいき、「縦／横の糸を強固にした」との想いのもと開催しました。

来賓として、天野成幸修道学園理事長補佐、深山英樹同窓会会長、田原俊典中学高校校長、有馬昌宏同窓会近畿支部会長、高校32回生の同期の田嶋克宏修道中高元教諭をお迎えしました。

この10年来減少していた参加者も昨年よりも増加し、200名近い同窓生が参加した事は、幹事学年の高校32回生のみならず、次世代を担う高52回・高65回も協力し、準備した成果であると合わせて報告します。

第一部の講演会は午後6時から、昨年に引き続き大重麻衣さん（元広島ホームテレビアナウンサー）の司会で、広島大学大学院・医系科学研究科・教授の二川浩樹さん（高32回）による、「L8020乳酸菌とイータックスについてご存じですか？」と題した講演が行われ



関東支部のつどい 会場の様子

「口内乳酸菌がいかに虫歯予防に効果があるのか」に関して、多くのスライド等を駆使し、非常に分かり易く解説していただきました。当講演は「非常に分かり易かった」等、多数の高評価を頂戴いたしました。

第二部の関東支部のつどいは午後7時より、関東支部の菱川哲行実行委員長（高32回）の開会宣言、会計報告、弘中惇一郎会長（高16回）の開会挨拶、その後、来賓のご紹介、天野成幸 修道学園理事長補佐、深山英樹同窓会会長からのご挨拶を頂き、田原俊典校長の乾杯により懇親会がスタートしました。

本年の懇親会は、実行委員長 菱川さん（高32回）のお知り合いである「JOYFUL

ました。二川さんは「口内乳酸菌」に関する権威ともいえる存在で、多くの学会の役員を兼務し、2013年「平成25年度文部科学大臣表彰・科学技術賞」を始め各種表彰を受賞され、2024年のNHK「口腔細菌」を含むTV出演活躍をしております。当日は

「VOICE SCHOOL」『ロスベル』による心に響く迫力ある歌声で3曲を歌いあげ、躍動感あふれる楽しいステージを届けてもらいました。また、大谷ふみたかさん（高65回）による「メシキラ」の楽しいコント・ギャグで、満場が笑いに包まれました。それぞれのアトラクションの間にも開催主旨である「業種懇親会」で活発な意見交換がなされておりました。

その後、4月に開催された関東支部春季ゴルフ大会の成績発表を行い、個人戦（優勝：北方寛さん（高32回））、ベストゲロス賞（上巳浩さん（高18回））、団体戦（優勝：高32回）の表彰が行われました。最後に、同窓生にゆかりのある品々を景品とした大じゃんけん大会が開催しました。8月6日の広島巨人戦ペアチケット・弘中会長の著書「特捜検察の正体」・「平山郁夫美術館招待券」他多数の景品が用意され大いに盛り上がりました。

その後、次年度の実行委員への引継ぎ（2の回）↓（3の回）の後、最大のイベントである校歌斉唱に移り「JOYFUL VOICE SCHOOL」のメンバーにも参加して、最高のハモリでかつてない校歌斉唱になりました。最後に、稲田英一郎幹事長（高49回）の



校歌斉唱

閉会宣言により、午後9時に閉会となりました。

最後になりますが、本年の開催に際しまして、修道学園、同窓会本部、同窓会近畿支部をはじめ、関係者の方々に多大なご支援・ご協力を賜りましたことを改めて御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

## 2023年総会・集いの報告

### 近畿支部

河本 浩二（高45回）

令和5年12月3日（日曜日）、ホテルグランヴィア大阪にて令和5年度総会・集いを開催しました。今年は4年ぶりに人数制限もパーティションもなくなり、木村剛治さん（高36回）の司会のもと、54名の同窓会員と3名のご来賓のご参加を得ての開催となりました。総会前の記念講演では、佐藤宏介様（高31回）から「地域に生きる大阪大学の社会学共創」という演題でご講演をいただきました。江戸時代の中之島にあった広島藩蔵屋敷の跡地と大阪大学の発祥との関係から現代の公開講座による地域社会への貢献まで、興味深いお話をお伺いできました。

次に全体の集合写真を撮影して総会へと移りました。令和5年に鬼籍に入った会員へ黙とうを捧げました。有馬昌宏会長（高24回）の開会の挨拶に続き、代表幹事の谷村典俊さん（高30回）による会計報告を行い、直前の

感染症感染でご欠席となった監事の林治令さん（高19回）からの会計監査報告が代読され、全会一致で承認されました。

ご来賓からの挨拶では、修道中学校教頭の藏下一成先生より修道学園の紹介動画および修道生が犯人逮捕でお手柄をあげた広島ローカルニュースが紹介されました。引き続き修道学園同窓会会長の深山英樹様（高12回）ならびに関東支部会長の弘中惇一郎様（高16回）からの挨拶をいただき、総会は滞りなく終了しました。

高東嘉毅さん（高8回）の音頭による乾杯が始まった集いでは、最初に昨年の参加者によるスピーチが再開・継続され、それぞれが自分の近況や思いを語りました。年齢に関係なく自分のやりたいことを楽しむ同窓生が多く、修道生の底力を感じました。

アトラクションでは、今年が初登場のジャグリングで、世良京太さん（高65回）と鎌田直稔さん（高72回）による軽快なトークと見事なパフォーマンスに出席者一同、目を見張りました。続いての近藤達夫さん（高29回）による歌唱披露では、その美声に酔いしれました。

食事の後のお楽しみ抽選会では、ピーコック魔法瓶のおしゃれなポルタボトル、ハウス食品のカレーパン、関東支部会長の弘中惇一郎様のサイン入り著書、修道生をモデルにした漫画本「男子校の生感」、修道中学校教頭の藏下一成先生からご提供の修道エコバッグ、同窓生から提供の秘蔵の森伊蔵などの景品で大いに盛り上がりました。その後は、参



総会での集合写真

加者一同で円になり肩を組み、近藤達夫さん（高29回）、世良朋孝さん（高35回）のリードで校歌を斉唱し、太田英之さん（高31回）のメールでしめました。

最後に都築英明副会長（高24回）が閉会の辞を述べ、高校69回生の皆さん（岩崎豊さん、藤木大地さん、平岩義寛さん、鹿毛信一さん、高石凜太郎さん）の音頭による万歳三唱で集いを終了しました。

参加者が57名とコロナ禍前に比べると少ない人数での開催となりましたが、講演、スピーチ、アトラクションと内容の充実した会になりました。司会の木村さんのスムーズな進行

のおかげもあり、大変満足度の高い総会・集  
いだつたと自負しております。今回参加した  
人は引き続き次回も、今回参加できなかった  
人はぜひ次回こそは皆で集まり、楽しい時間  
を過ごしましょう。

## 2024年近畿支部

### 新入生歓迎ミニ交流会の報告

近畿支部

有馬 昌宏 (高24回)

5月12日(日) 14時から16時まで大阪駅前  
第3ビルの中華料理店「金の華」において、  
近畿の大学に進学してきた新入会員の歓迎の  
ためのミニ交流会を開催しました。

参加者は高校76回(今年高校を卒業)が10  
名、高校75回が1名、高校70回が1名、高校  
69回が2名、高校39回が1名、高校30回が1  
名、高校25回が1名、高校24回が2名の19名  
でした。会長と副会長の2名が参加者の平均  
年齢を引き上げてしまいました。会長の挨拶、  
副会長の乾杯の音頭の後、所属していた  
班活動や大学に入学してからの状況などを含  
めた自己紹介や先輩からの突っ込みの質問な  
どで大いに盛り上がり、おいしい料理もあつ  
て2時間があつという間に経って閉会となり  
ました。

あまりの盛り上がりで記念撮影をすっかり  
失念しており、写真を掲載できないのが残念  
です。

## 九修会総会

### (令和5年10月21日) 報告

九修会

石本 俊亮 (高27回)

令和5年の総会は、コロナも一息ついたこ  
ともあり、10月に開催することとし、学園同  
窓会事務局よりいただいた九州地区への進学  
者に向けて多数の案内を出しました。

学生会員の参加費を千円としたこともあ  
り、予想に反して27名の学生会員の参加とな  
りました。大学や学年も様々でしたが、学生  
会員同士で連絡を取り合い集まられたようで、  
和気あいあいとした良い総会になりました。



九修会総会 R5年10月21日博多八仙閣本店にて

会の冒頭では、九修会の立ち上げ時の主要  
メンバーである花岡氏が逝去された報を伝  
え、全員で黙とうを行い、個人のご冥福を祈  
りました。数年前から体調を壊されていたよ  
うでしたが、コロナ後の再会がかなわず、残  
念な結果となりました。

引き続き、田原俊典学校長、深山英樹同  
窓会長からの学園や広島状況について紹介  
いただきました。学生会員にとっては、懐か  
しい話しが多かったようです。

今回は、土曜日に実施したため、病院勤務  
の会員の都合がつかず、不参加の返信が多く  
みられました。令和6年には、日曜日の開催  
へ変更したいと考えています。

## 第32回東部修道会 総会

東部修道会

佐藤 裕紀 (高28回)

令和5年10月14日(土)、福山ニューキャッ  
スルホテルにて、第32回東部修道会総会が開  
催されました。来賓として、田原俊典校長、  
深山英樹同窓会会長、修道学園第33地区会の  
保護者の方々をお迎えし、盛会となりました。  
東部修道会は広島県東部地区および岡山県の  
在住者および出身者で構成され、平成元年か  
ら活動しています。コロナ感染症などで開  
催できない年もありましたが、原則として毎  
年総会を、また母校訪問やカープ観戦などの  
親睦行事も開催しています。また、総会で

は講師をお招きし講話を聞かせて頂くのも  
 楽しみの一つとなっております。今回は、株  
 式会社コジマ・ムジカ・コレギア代表理事で  
 あり、ヨーロッパで活躍するバイオリンスト  
 の小島燎氏（高63回）をお招きし、「しまな  
 み海道に響かせたい、子どもたちが輝く国際  
 音楽祭」と題して講演頂きました。小島氏  
 は、毎年秋に尾道、因島、生口島を舞台とし  
 て「しまなみ海道・秋の音楽休暇村」を開催  
 されており、その目的、これまでの経緯、イ  
 ベント内容などについて詳しくお話頂きまし  
 た。ご持参いただいた愛用のバイオリン（価  
 格を聞いてビックリ！）による演奏も披露さ  
 れ、その音色の素晴らしさに感動しました。  
 令和6年度は5月にカープ観戦、10月に総会  
 を開催する予定で準備を進めています。よ



総会での集合写真

り多くの卒業生の皆  
 様にご参加頂きたい  
 と思っております  
 ので、広島県東部地  
 区、岡山県などにお  
 住まいの卒業生情報  
 がありましたらぜひ  
 お知らせください。

## 東部修道会 活動報告

### 東部修道会

山崎 義明（高41回）



小島 燎氏（高63回）による講演

東部修道会は、広島県東部地区および岡山  
 県の出身者および在住者を会員として、修道  
 学園（中・高）同窓会の支部として発足しま  
 した。前原敬悟会長（高20回）をはじめ、多  
 くの会員が、会員相互の親睦と母校の発展の  
 ために、様々な活動をしています。

今回は、令和6年5月19日（日）、マツダス  
 タジアムにてカープ観戦ツアーを実施しまし  
 たので、その報告をさせていただきます。当日  
 は、会員やそのご家族、在校生の保護者等総勢  
 150名の皆さまにご参加いただきました。

試合経過ですが、アドウワ投手が初回到3  
 点先制された直後に末包選手の逆転スリーラ  
 ンホームランが炸裂する等で、結果、9対3  
 でカープが読売ジャイアンツに勝利しました。  
 試合経過もさることながら、当日は、皆さ  
 ま、世代や学年の垣根を越えてあちらこちら

で輪になって親睦を深めておられました。ま  
 た、当日ご参加くださった子どもたちも、同  
 窓生の固い絆を目の当たりにして修道への入  
 学の決意を固めてくださったものと思います  
 （このような活動が修道のPRになるととて  
 も嬉しく思います）。

試合終了後、福山方面への帰路につく途中  
 で雨が降ってききましたが、なんとか天候が  
 もってくれたのも、皆さまの日頃の行いの賜  
 物ではないかと考えています。

今後、東部修道会では、令和6年10月26日  
 （土）に福山ニューキャッスルホテルで通常  
 総会を開催する予定です。通常総会でも広島  
 県東部地区や岡山県にゆかりのある多くの皆  
 さまにご参加いただき、在校当時の思い出話  
 に花を咲かせてくださる等していただけま  
 すと幸甚です。



カープ観戦の様子

最後になりましたが、このような企画をご  
 発案いただくとともに広島パルコパティー  
 ベランダを確保  
 してくださいま  
 した前原会長を  
 はじめ、事前準  
 備や当日の運営  
 に多大なご尽力  
 を賜りました  
 幹事の皆さまに  
 この場を借りて  
 厚く御礼を申し  
 上げます。本当  
 にありがとうございました。

## 江能修友会

### 2024年活動報告

江能修友会

美濃 英俊（高42回）

江能修友会の事務局長に昨年度任命されて、初めて会を代表して寄稿させていただきました。まず、改めて江能修友会についてご案内させていただきます。江能修友会は現在の江田島市にあたる、江田島町と能美島3町（沖美町、能美町、大柿町）出身の修道中高卒業生の集まりとして、平成7年7月7日に設立されています。この役に就任して改めて、設立に動かれた先輩方に敬意をもって「さすが修道生」と思う次第であります。

さて、本年度の活動ですが、4月13日に役員会を開き、本年度の総会について議論しました。その議論が終わりに差し掛かるときに、山下江会長（高23回）から「来年30周年ですね。何かしましょう」という発言がでた。そして決まったことが、まだ具体的ではないですが、「総会の時に何かしら催しをしよう」ということ、30周年に向けて「江田島市出身の修道卒業生に案内しよう」ということ、そして「ホームページを作ろう」ということが決まりました。どれも、この原稿を執筆中にはできていませんが、お盆頃に役員で集まって、具体化していく予定であります。

つづいて、6月13日に開催した総会について報告いたします。同窓会からは中村靖富満

副会長、学校からは田原俊典校長にご参加いただき、田舎と呼ばれる江田島市の中でも風光明媚と言われるunos（サンビーチ沖美）で開催いたしました。梅雨時ですが天気にもめぐまれ、眼下に海を眺めながら和やかな雰囲気の中で総会は開かれました。今年の総会（懇親会）で特筆されるのは、参加者全員がスピーチをしたことです。修道生の頃のこと、近況、卒業してからのことなど様々です。文章で表現するのは難しいですが、このスピーチは今までにない、とても良い時間になりました。会員の高齢化ということもあり、年々参加者は減少傾向にありますが、今後も、江田島市から修道に行つた先輩や後輩と良い交流のできる場であるように、微力ではありますが、事務局長として努めたいと思えた日になりました。



総会での集合写真

## 修道医会令和5年度

### (第67回)総会 報告

修道医会

松本 正俊（高42回）

修道医会は修道学園を卒業し、主として広島県内で医師として活躍している方々の集まりであり、会員数は現在985名です。昭和31年7月1日に発足して以降、毎年1回の総会、ゴルフ大会、家族会（野球観戦）等を催しています。平成20年から学生部会をつくり（現在会員数51名）、広島大学医学部の在学生のみならず、他大学医学部の在学生にもよびかけて部会としての活動を行っています。

今年度の総会は、令和5年7月29日（土）ANAクラウンプラザホテル広島にて開催しました。午後4時30分からの評議員会・総会において、令和4年度の事業報告や決算報告、令和5年度の事業計画と予算承認が行われました。第24回学術奨励賞は兒島正人先生（高60回：広島大学小児外科）が、Academic Surgeonを目指して腫瘍を中心に症例報告から1細胞解析まで々の論文業績で受賞されました。第22回社会功労賞は竹末芳生先生（高26回：兵庫医科大学名誉教授、常滑市民病院）が新型コロナウイルスの流行に際して兵庫県における感染対策のリーダーを担われると同時に、メディアでの発信などを通して全国の感染対策のオピニオンリーダーとして活躍されたことで受賞、第13回文化功労賞

は石橋克彦先生（高33回・中電病院院長）がコメディカルへの循環器病教育に多大な貢献をされたことで受賞されました。

次いで午後5時30分からの特別講演（i）では株式会社エムネス 代表取締役社長（元グーグル・クラウド日本代表）の阿部伸一氏（高39回）より、「デジタルの世界から見た医療の世界とあたらしい働き方」と題したご講演を拝聴し、特別講演（ii）では、奈良県立医科大学微生物感染症学講座教授の矢野寿一先生（高38回）より、「新型コロナウイルス感染症の感染対策〜各種化合物や食品による不活化効果〜」と題したご講演を拝聴しました。

午後7時からは懇親会を開きました。新会長の板本敏行先生（高28回・県立広島病院院長）のご挨拶に引き続き、ご来賓の林正夫修道学園理事長、深山英樹修道学園同窓会会長よりご挨拶いただき、田原俊典修道中学校・

修道高等学校校長から学園の現状を伺いました。さらに前述の3つの賞の表彰と受賞者の謝辞がありました。続いて、新たに教授に就任された福岡大学小児科の永光信一郎先生（高36回）にご挨拶いただき、埼玉医科大学乳腺腫瘍



総会での校歌斉唱

科の松浦一生先生（高44回）よりお預かりしたご挨拶を担当幹事が代読させていただきました。続いて、院長就任のご挨拶を片岡健先生（高26回・広島厚生病院）、石橋克彦先生（高33回・中電病院）、今村道雄先生（高39回・山崎病院）にして頂きました。さらに、岐阜大学の学長に就任された吉田和弘先生（高29回）にもご挨拶をいただきました。その後、学生部会部会長の挨拶、校歌斉唱後に山本泰次先生（高7回）より万歳三唱の音頭をいただき、最後は事務局長松本（高42回）の閉会の辞で盛会裏に会を終えました。

今年もこの会により修道健児の心意気を示すとともに、今後の各分野での個々の活躍と修道同窓生としての連携を確認した次第です。

## 第60回広島修道歯科医会総会

広島修道歯科医会

毛利 雅哉（高31回）

令和5年11月11日（土）午後4時より「ANAクラウンプラザホテル広島」において、第60回広島修道歯科医会総会が開催されました。5月に新型コロナウイルス感染症が5類に見直しとなり、加えて本会の60周年記念総会でもあることから、4年ぶりの懇親会開催を含む通常開催です。

総会は久保康治専務理事（高37回）の司会進行で行われ、物故者への黙禱に続いて川原正照会長（高27回）より出席した会員への挨拶

がありしました。続いて、庶務、会計、監査より報告があった後、協議に移り議題「役員改選について」は、川原会長に2期目もお願いすることが全会一致で承認されました。また、会員から「コロナも明けたので、親睦事業としてカープ観戦の復活をお願いしたい」との意見があり、執行部で検討することとなりました。

引き続き、講演会が開催されました。今回は60周年記念ということもあり、本校出身の人気漫画家コンテくんに講演をお願いしました。コンテくんは令和5年3月に「男子校の生感」で角川書店からデビュー。修道時代をゆるゆると描いたこのエッセイ漫画は、中国新聞でも取り上げられ、広島地区では大ベストセラーとなっています。果たしてどんな内容の講演をしていたのか楽しみでありましたが、期待にたがわぬ大変面白いお話で参加者一同爆笑につぐ爆笑でした。中でも、「今後第2弾の本を書くにあたり諸先輩方に修道時代のエピソードを取材すると、面白い話が満載ではあるけどもすべて現在のコンプレックスではNGのネタばかりで本には書けません（笑）」とのこと、昭和を修道で過ごした一同は、爆笑するとともに「そりゃそうだ」と大きくうなずくのでありました。いつもは専門的な学術講演となるのですが、たまにはこういうリラックスして聴ける講演もいいものだと感じたと思います。

その後、記念撮影をさみ午後6時から懇親会が開催されました。来賓として田原俊典校長にお越しいただき、母校の近況やコンテ



くんの活躍ぶりについてもお話をしていた  
きました。久しぶりの懇親会ということ、ま  
たコンテくんの修道にまつわる講演もあり、  
大変賑やかで楽しい懇親会となり会員の親睦  
もより深まったと思います。

午後7時30分、毛利雅哉副会長（高31回）  
の閉会の辞をもって日程を終了しました。



第60回広島修道歯科医会総会  
令和5年11月11日 於 ANAクラウンプラザホテル広島

## 令和5年度

### 広島市修道会 活動報告

広島市修道会

長田 開（高67回）

広島市修道会は、広島市役所の職員のうち、

ち、修道中学・高等学校、修道大学の卒業生  
約320名で構成しており、同様に卒業生の  
市議会議員の先生方にも顧問として入会して  
いただいています。

例年は、総会及び懇親会（これには御来賓  
として修道中学・高等学校と修道大学から、  
それぞれ校長と学長の御臨席を賜っておりま  
す。）のほか、役員会や幹事会、忘年会（又  
は新年会）等、年4回程度、会員が顔を合わ  
せ、在学中の思い出を語り合う機会を設けて  
おり、市役所の中でも歴史の長い同窓会とし  
て活動を続けています。

昨年度は新型コロナウイルス感染症の感染  
症法上の位置付けが「2類相当」から「5類」  
に変更されたこともあり、令和6年1月25日  
に広島市文化交流会館にて4年ぶりに総会及  
び懇親会を開催しました。御来賓として修道  
中学・高等学校より田原俊典校長先生、広島  
修道大学より矢野泉学長に御臨席を賜り、顧  
問である市議会議員6名と市役所OB1名を  
合わせて、総勢65名の参加がありました。

総会では、令和5年度の会計・監査報告の  
後、人事異動に伴う役員の変更等についての  
議題審議があり、満場一致で承認されました。

続く懇親会では、田原校長、矢野学長に学  
園の近況も交えた御挨拶をいただきました。  
会員の多くは、卒業後に学園について触れる  
機会がほとんどないため、中学・高校、大学  
ともに今もなお発展し続けている近況を聞く  
ことができ、在学中の思い出に浸るとともに、  
大変誇らしい気持ちでいっぱいになりました。  
公私とも御多用の中御出席をいただき、

心温まる御挨拶をいただきました田原校長、  
矢野学長のお二方には、この場をお借りして  
改めてお礼を申し上げます。

会員が毎年楽しみにしているビンゴ大会で  
は、広島の特産品で特に優れたものとして認  
定されている「ザ・広島ブランド」の商品を  
中心に合計15点の豪華景品が用意されまし  
た。さらに、ビンゴ大会を盛り上げるため、  
総会当日に結成した4人組によって、リーチ  
時やビンゴ達成時に管楽器によるBGMの生  
演奏が行われました。管楽器の生演奏がある  
ことで、通常のビンゴ大会とは一味違う雰  
気となり、会場は大いに盛り上がりました。

昨今は、市役所内でも個人情報取扱い  
についてはデリケートな問題になっており、  
新規メンバーの勧誘がなかなか難しい状況  
にあります。しかしながら、市役所という  
大所帯の中で、同窓の先輩後輩が一堂に会  
し話をする機  
会は貴重であ  
るため、今後  
とも会員が楽  
しめるような  
様々な企画  
にチャレンジ  
し、若手会員  
を増やすと  
ともに、会を  
発展させるよ  
う努めていき  
たいと考えて  
います。



ビンゴ大会の様子

新見先生との出会い

高瀬 正則 (高9回)

中学二年一学期末、新見剛士先生(旧中35回)の体育授業のあと教官室に来るように言われた。

「高瀬は野球部へ入ったそうだが、修道の野球部は弱くてダメなんじゃ。修道は蹴球が強いので、蹴球部へ入らないか。君は運動神経があつて、足が速い。」

私は修道中学に入る前、スポーツといえば野球を小学校のグラウンドで近所の仲間と遊びでやっていた程度だった。広島カープが誕生した頃で、スポーツといえば野球だった。蹴球という競技は、修道に入つて初めて知った。「考えておいてくれ」と言われてそのときは別れた。

二学期に入つて、また教官室に呼ばれた。まだ入部の決心は出来ていなかった。校内のグラウンドで休憩時間に5、6個のボールが飛び交う中で蹴ったことがある程度。硬い皮のボールをヘディングなど出来そうにない。

三学期に入りついに決心する。1月23日、教官室に行つて入部することを新見先生に伝えた。最初に声をかけられてから半年が経っていた。

中学三年になり第二回広島市中学校サッカー大会で優勝した。この年の高校蹴球部は第8回国体で二度目の優勝をした時代であった。高校に入ると冬場の練習は体力・走力の強



昭和31年11月1日 第11回兵庫国体優勝記念  
第二列左より 吉田 森田 山本 池田 林先生 井上 中村 新見先生  
第一列左より 西本 本西 木村 堀田 重松コーチ 竹内 高瀬 釜田 井口

化が主体となる。宮島弥山の山登り、比治山へのランニング等のトレーニングで鍛えられた。私は短距離は早いなが長距離は苦手だった。比治山への登りの時は、皆に遅れまいと頑張っていると、過呼吸で走れなくなつた。心肥大で薬を飲む状態にまでなつた。

高校一年で決心する。練習はきつしいし、心臓も丈夫ではなさそう。退部することも出来るが、将来の健康のため、頑張つてみよう。私がサッカーを続けていけたのは丈夫な身体を作ることを目的としたからだ。

高校三年になり県内の試合は無敗、第11回国体で三度目の優勝を果たした。中学から高校までの同期メンバーは6名。G K井上、F B 埜、H B 森田、F W 木村・堀田・高瀬。

その後は広島県社会人リーグの立ち上げに携わつたり、県審判部員としての活動をしたり、広島四十雀サッカー部に入り全国各地で行われる大会に選手として出場したり、人生のほとんどをサッカーと関わつて



全国制覇なる(第11回国民体育大会)試合終了のホイッスルの鳴った瞬間 林先生、重松コーチ、新見先生、本西君

きた。Jリーグ初年度から31周年を迎える現在まで、サンフレッチェ広島の応援にはほぼ毎試合行つている。

新見先生からの誘いがなかったら、蹴球部に入ることはなかったと思う。今も新見先生との出会いに感謝している。

修道十日会

卒業六十六周年同期会

池本章 (高10回)

去る花見の日、四月三日「半べえ」で四十名が集い(前回出席者は四十四名)開催いたしました。重森三玲作の庭園で桜花のもととは行かず雨天のもと室内での記念撮影をすませ、一二時より開会しました。黙祷の後(この一年間で十名逝去)、世話人代表高木君の母校の近況報告、創始三〇〇周年記念事業への寄付金のお願いの挨拶、遠来の山本修也君の乾杯発声の後、歓談にいたしました。県外からは北海道から八島君、関東から山本修也君、関西から赤毛君、平石君、岡山から秋光純君の五人、遠方よりの参加ありがとうございました。二時間半はあつという間に経ち、大角君の校歌斉唱、東君の締めで、一年後に再会

を約し和気あいあいのうちに散会いたしました。また、開催にあたり修道後輩の「半べえ」金井社長には送迎・写真印刷・設営等何から何までお世話になりました。事務局には開催の案内をホームページに載せてもらい、封筒・会誌を頂き、紙上を借りて厚くお礼申し上げます。なおまた当日受付に能登半島地震義援金箱を設けたところ。参万円のご芳志を頂き、中国新聞社会事業団に預託いたしましたことを報告させていただきます。(四月一七日中国新聞記載)



卒業六十六周年同期会 集合写真

## 関東修道イチサン会 第50回記念懇親会模様

中道(旧姓奥窪) 昇(高13回)

新制高校13回生の集まりをイチサン会と称して、広島で5年ごとに懇親会が開催されてきました。その卒業後35年(1996年)の懇親会で、関東圏でも開催しようということになり、1997年5月に第1回、

以後年2回、コロナ感染期2年間休会を除き、2024年5月に関東修道イチサン会の第50回記念懇親会を開催しました。なお、2005年から広島でも4月、10月に年2回開催するようになりました。

今回の会では、4月13日に行われた広島修道イチサン会の状況報告に続き、関東修道イチサン会のこれまで50回の活動を一覧表にまとめ、それをもとにこれまでの活動を次のように振り返りました。

①参加者数は当初30名台をキープしていましたが、23回(2008年)から20名台になり、45回(2019年)からは10名台になりました。ゲストとして田中肇先生(第5回)、平田幸男先生(第14回)、ほぼ毎回広島イチサン会からの参加のほか、関西在住者の飛び入り参加もあります。会場は、当初東京駅近辺のホテル、途中、高校8回生の菅久尚武先輩が経営していた六本木のQueen's Q、などを利用していましたが、39回以降は、原宿にある東郷神社内の東郷記念館で開催しています。

②ゲスト参加者のスピーチでは、「日本語における沖繩語について」、「旧暦と暮らすスローライフの知恵ごよみ」、「修道284年祭と山田十竹先生」のほか、人生、経済、医療など多岐にわたる話が紹介され、表題一覧を眺めて当時をなつかしみました。

③2003年の修道同窓会関東支部総会では、13回生が当番年で、故志村光紘君を

中心に36名が協力して会の準備・開催したのは、この期間での記憶に残る大きなイベントのひとつでした。

④会長は、初回(1997年)から8回(2000年)まで故落合信彦君、9回から17回(2005年)まで小辻一洋君、18回以降中道(旧姓奥窪)昇が務めています。

次に、広島からの記念懇親会のゲストである山根恒弘広島修道イチサン会会長から、2024年2月1日に開業した新サッカースタジアム、徳川家康(1542年〜1616年)を御祭神にお祀りした広島東照宮本地堂の全解体保存修理、特に漆塗は非常にきれいに仕上がっていること、2023年秋に行われたインクルーシブ・スポーツ・フェスタ広島の紹介がありました。

会の方は、そのほかの参加者からの近況報告のほか、会員相互の懇談、次回11月の案内をして再会を約して、通常より30分長い、2時間30分の懇親会を終了しました。

数年前、夫人同伴で参加した会員がいたのを機会に、ほかの会員にも夫人同伴を呼びかけ、最近



第50回記念懇親会 集合写真

夫人参加が定着してきています。広島イチサン会ではまだ会員だけの参加なので、夫人同伴に移行するよう勧めています。

## 修道第15回卒業生 傘寿を祝う会の報告

土井 和士 (高15回)

この度の傘寿を祝う会を計画するとき、果たして何人参加してくれるだろうかと役員で心配した。諸先輩方の参加者が少なかつたからと聞いていたからだ。なんとか60名以上の参加が望ましいと考え、案内文等に工夫をこらしたしたつもりであった。その甲斐あり、なんと72名の参加者を得た。

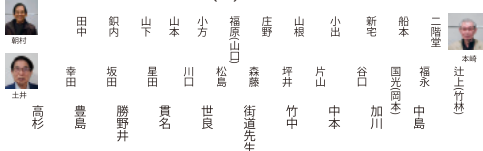
参加者が多いと友の顔を眺めているだけでいろんな思い出が湧き出てくる。それだけで追懐の喜びがこみ上げてくる。いろんな過去の場面が頭をよぎり、そのときの音が心の中で響き、匂いまでもが漂ってくるのだ。実に懐かしく幸せな気分になれる。それは一人の顔を見れば一人の量の二人の顔を見れば二人の量の思い出がわいてくる。だから多数の同級生の参加のおかげで思い出という土産袋はいっぱいになった。多くの友よありがとう。

最初の案内の時、富室君と朝村君から2回励ましの電話をいただき、続いて久保田君、小方君、庄野君、国光君から楽しみにしているとの電話をいただいた。印象的だったのは国光君が「お前らしい良い文章だった」と褒

めてくれたことです。今まで何回もこうした会を開催しているが、事前に励ましの電話をいただくことがなかっただけに、とてもうれしかった。

この間、小生は階段から落ち、二ヶ月間以上マウスが使えなくなつた。そのため準備の事務作業が遅れ、田中君や竹中君から叱咤叱咤？（励まされが正しい）され、耳が難聴になつたような気がする。（ゴメン）しかし、何かと補つてくれたのでありがたく思っている。特に竹中君のデータ入力には本当に助かつた。また、田中君の身障者である小生を優しく思いやる気持ちには心の中で両手を合わせた。

傘寿を祝う会 修道高等学校第15回卒業生参加者  
2024年3月31日(日)ホテルグランヴィア広島



これからは思い出をたどるだけではなく、思い出を作るような同期会にしていきたく考えている。参加者からは毎年開催するよう要望す

傘寿を祝う会 修道高等学校第15回卒業生参加者  
2024年3月31日(日)ホテルグランヴィア広島



するよう要望す

るものが多かつたので、一年半ごとに開催したいと思う。だから、これからも今までも暖かい励ましをいただきたいと思う。  
詳しい報告は <http://www.tennis-school.net/shudo15/index.html> にある。

## 修道高校16回卒業 60周年記念同期会

令和6年6月6日(木) 12時30分

リーガロイヤルホテル広島

厚井 範彦 (高16回)

前회가5年前の開催でしたが、「今回で最後の同期会になるだろう」との案内文の影響か、前회가百名ほだったのが122名、関東から33名、関西からも8名の参加者となり、欠席葉書にも参加できないのが本当に残念との声が多く寄せられ、同期の絆の強さを実感しました。また、この度、関連イベントとして次の4事業を行いました。

- ①前日のカープ観戦(28名)
- ②当日午前中の母校訪問(32名)
- ③弘中惇一郎「絵画展」(320名)
- ④翌日の賀茂カントリーゴルフ(20名)

しかし、この5年の間に十数名もの同期が鬼籍に入られ、来年には傘寿(80歳)を迎える我々なので恩師も米寿を迎えられた畠眞實先生(高7回)のみをお迎えすることになり講義も受けました。先生の講義を懐かしい授業としてお聞きしましたが、私が先生との会

話の中で最も印象に残ったのは、事前に同期会の打ち合わせで先生のお宅を訪問した際の次の言葉です。

「結婚後、63年間連れ添った妻をこの3月に亡くし、独りでいるので話すことがなくなり、淋しい毎日を送っているが、どちらが後に残されても悲しいし辛いけれども、妻にこの悲しみを与えなかったから、妻が先に逝ってくれたから、それは本当によかった」と。究極の夫婦の絆を感じさせる言葉だと感動を覚えました。

また、今回、奥様の介護を得てヨレヨレながら参加した者、肺の病気に罹り欠席するが、妻の介護がなければ毎日の生活が成り立たない、と妻に感謝する手紙を寄せた者。

これらは、この歳になつての夫婦の絆の大切さを改めて示してくれた気が致します。

そして会が終わった時「何でこんなに盛り上がり、楽しい会を最後にするのか」との声が多数寄せられました。

『養生訓』を書いた貝原益軒が「老いに至りて娯たのしみを増す」の言葉を残しています。

誰しも出来れば老いて楽しみを増す人生を送りたいと願いますが、益軒のいう娯は外に求めるのではなく内なる娯として自然と読書を挙げています。私達は今回の同



母校訪問での集合写真

期会を機に、老年になつたからこそ生まれる夫婦の絆を、既に妻を亡くしている者は懐かしい思い出を益軒のいう老いの娯に加えようではありませんか。

そして今回、持病を抱えながらも参加してくれた方々に「感謝」し、多くの声に応えて、数年後に元気であれば、お世話ができる「老いの娯」を胸に、頑張ろうと思っています。



修道高校16回卒業60周年並びに傘寿記念同期会  
2024年6月6日(木) 於 リーガロイヤルホテル広島



校歌斉唱

## 安芸の宮島 「たまげたチキンカレー」

阿部 年雄 (高17回)

すっかり忘れていた中学時代のあの出来事を思い出したのは二十数年前、東京で金融・リース会社の役員をしていたときにはじめて出席した関東支部の同期会だった。新入りは私だけで近況報告をしたら、さっそく本田憲

三君から「阿部と言やー宮島でのチキンカレー、あれにやーほんまたまげたわ！」で一同の注目を集め、やがて大爆笑になった。彼は私のことをこの一件で、実に四十年以上も鮮明に記憶してくれていたわけである。いやはや。

中学に入学して初めての5月連休、陽気に誘われて近所の瀬野川で小学校時代の友人たちと泳いで風邪をひき、数日たっても高熱と咳が収まらず階段を上ろうにも脚にまったく力が入らなくなった。急遽、病院で診察を受けると医師はレントゲン写真を示しながら「肺全体が真っ白に写るほど重度の肺炎。肋膜炎と初期の肺結核である肺浸潤も併発しているからもう少しで手遅れになるところだった」と診断され、そのまま国立畑賀療養所(現・安芸市民病院)に4か月入院する羽目になった。

自宅療養を経てようやく復学したのは10月で、留年こそ免れたものの、授業にはまったくついていけず、ならばと「基礎体力を取り戻すこと」を当面の目標に休日のたびに「自宅から見える山」に登り始めた。昼食用におにぎりなどを持ち、水筒をかついでいずれも数百メートルの低山だったが、同じ山でも違うルートで登ったり、尾根を縦走したりしてそれを5万分の1地形図に赤鉛筆で記録した。勉強そっちのけで専念した成果として健康を取り戻しっぱしの「アウトドア少年」に成長することができた。

中3でクラス替えがあり、本田君など親しくなったメンバーの間で「親睦ハイキング」

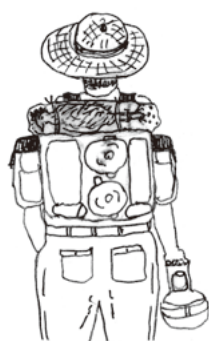
の計画が持ち上がった。「せつかくなのでチキンカレーを現地で作ろう」という私の提案が採用され、いくつかの候補地から宮島を選んだ。ご存じ日本三景のひとつだが、厳島神社や大鳥居とは反対側⇨東側の海岸で、と決まった。行ったことがない（わくわく感）もあつたのか他のクラスからも9人ほどが参加を表明した。

なぜチキンカレーだったかというところ「うちは自家消費用に数十羽のニワトリを飼っているからそれを持って行く」と請け負ったから。カレーのほうは広島市内に住むメンバーが購入することにしたくらいだから今人気の凝ったスパイスカレーなどではなく、「家カレー」の牛肉や豚肉の代わりに鶏肉を入れることにした。各自、食器とスプーンを持参して、宮島口棧橋に当日朝に集合することになり、はつきりと時間も決めたはずだがそれは忘れてた。

言い出しつへの私がいちばん責任重大で、忘れものがないように準備リストまで作って飯盒や鍋、まな板代わりのベニヤ板、ナイフや包丁にマッチなどの小物まで揃え、数日前からキスリング⇨厚手の綿布製リュック⇨にああでもないこうでもない詰めたり、出したり。野菜類は前日にあらかじめ適当な大きさにカットしたが、肝心の鶏肉は当日朝に「品定め」することにした。

宮島口へは最寄りの山陽本線の列車で安芸中野駅から広島駅まで行き、岩国行きに乗り換えて行ったが、集合場所が皆が「たまげた」のは私のザックの上に、通気用の穴を

いくつも開けた飼料用の紙袋が括りつけられていたこと。勘のいいのは「えっ！ニワトリを生きたまま持ってきたの？」「肉だとこの時期、傷んではいけないと思って」とすまし顔の私。こんなやりとりがあつて、宮島へは当然ながらデッキが使える国鉄の連絡船で向かった。肝心のニワトリは朱塗りの大鳥居を連想して？赤卵を産む名古屋コーチンにしようかと思つたが白色レグホンのほうが若くて肉質がやわらかそうという理由でチョイス。バタつくと困るので脚はあらかじめひもで括っていたものの鳴かれるのが一番心配だった。「生きた鶏肉」を持って行つたくらいだから、季節は初夏で、あまり人のいない海水浴シーズン前だったはずである。



ニワトリを背負って行く様子

宮島では棧橋から厳島神社に続く商店街とは反対側へ島を時計回りにひたすら歩いたがどこまで行つたかはさっぱり記憶がないので、付き合ひのある垣内政治君に問い合わせた。届いた手紙には「ネットの地図で調べたら、青海苔浦に間違いない。時計回りの道路が途切れた箇所が青海苔浦。そこには小さな川と三角州があるので水の確保とテント設置には最適な場所。いや、テントを張って一泊したか日帰りだったのか判然としないが」とあつた。

待てよ！グーグルの地図アプリなら（現況）はわかるが六十年以上前だから違うかもしれない。



宮島の地図

ないと、書庫からいちばん古い昭和35年改訂版の五万分の一地形図「厳島」を引っ張り出して調べてみた。す

ると最初の杉ノ浦は民家が多くて無理。手紙に「リーダーたる貴君が先へ先へと進むので暑さと歩き疲れで不平を口にするものが出てきた状況を思い出した」とあつたので、棧橋から小一時間、約6キロの包ヶ浦だったと推定、そこから10キロも先の青海苔浦ではなさそうと結論付けた。

手紙には続けて「水遊びをする連中がいるなかで、貴君は俺たちにひと言告げて背後の山に籠り、神事を執り行つた。そして直云（なおらい）となり、皆でチキンカレーをおいしく食べた」と。神事、直会ですつて。小学生のころ、父から伝授されたニワトリを解体する（神事）はともかく、ひよつとして（直会）の写真が残っていないかと探してみたが残念ながら見当らなかつた。

それにしても、この時の参加者の何人かは名前まで確実に思い出したが、すでに故人になつたのでこれ以上、問い合わせることはかなわない。「元・アウトドア少年」の私も77歳。京都で読売新聞記者だった縁で当時は新興企業だった京セラに転じたまでは同期会の面々もご存じだが、趣味である海を漕ぐシーカヤックで、二年前には九番目となる鹿児島



ご本人近景 (2022年6月)

県種子島と佐多岬間の大隅海峡約50キロを渡る遠征隊の隊長をつとめるなど、現役のシーカヤッカーという一風変わった人生を送っていることを彼らならきっと「たまげている」に違いない。

## 「修道高校23回生卒業50周年 & 古希記念同期会」のご報告

2023年9月27日  
卒業50周年&古希記念同期会  
山下 江 (高23回)

2023年9月23日(土) 17時より、ホテルグランヴィア広島にて「修道高校23回生卒業50周年&古希記念同期会」が、同期生110名と恩師2名(内先生7回生87歳、有田先生9回生84歳)のご参加のもと、盛大に開催されました。私は、塚本君・村上隆治君とともにその幹事を務めさせていただきました(事務局は佃君)。まずはみなさんのご協力に感謝します。

この会を持つとして準備を始めたのは、今から4年前の2019年10月10日です。2021年3月で修道高校卒50年になるので、それを記念して同期会をやろうと。

ところが、2020年になりコロナ禍が始まり、収まりかけたと思うとまた悪化したり、



卒業50周年&古希記念同期会 集合写真

この会は3回延期されました。そのうち、全員が古希を迎えることとなりました。それで、古希祝いも兼ねようということになったものです。

打合せ会議を重ねる中で、一つは、卒50周年を記念して学校に何かを寄贈しようということになりました。学校の要望を聞いたところ、図書館の書棚が欲しいとのことでしたので、これを寄贈しました。

予算は27万5000円でしたが、同期生から集まった寄付は67万5000円でした。余ったお金は修道学園創立300周年記念事業への寄付に回すこととなりました。

なお、同事業への寄付ですが、修道中高同窓会全体で2億円を集めようということになり現在あと少しだと聞いています。23回生からは匿名で1000万円の寄付をした方がおられ、現在23回生の寄付額は同窓会全学年の2位、あと200万円で1位になるようです。

みなさんのご協力をお願いします。

もう一つが、今回発行を予定している「記念文集」

です。堀内君、藤原君、徳丸君、植本君らが中心となって、みなさんから原稿を集めてもらっています。自分のこれまでを振り返るよい機会になり、また、他の同期生が卒業後どんな生活をしてきたのかを知ることのできる、貴重な資料になるのではと思っています。

さて、23日同期会の昼間には約50名にて、学校見学を行いました。7月には、弓道、剣道、柔道などを行える新「敬道館」が完成しており、これを見ることができました。新「敬道館」には、全国の中学高校で初めてという「スカッシュコート」もあります。スカッシュはまだまだ全国の取り組みが低調ななかでの先駆的な挑戦であり、インターハイ優勝も夢ではないようです。



学校見学会での集合写真

翌24日には、16名参加の元、記念ゴルフ大会が美和ゴルフクラブ(岩国市)において行われ、汗を流しました。ゴルフ幹事の煙石君、ありがとう



新図書館へ寄贈した書棚

ございました。

最後に、すでに同期生で亡くなられた方は、分かっているだけで、同期会時点で53人です。ご冥福をお祈りします。生き残れた方は、運が良かったものと思いい、与えられ生かされてきた命に感謝して、日々、充実して過ごしていきたいですね。健康に気を付けて、2025年中に予定されている次回同期会にてまた、お会いしましょう。

## ワンダーフォーゲル班と 藤田先生の思い出

中村 憲二郎（高41回）

私は三五年来、登山の際にごみ拾いをしていきます。そのことがきっかけで、不道德者の私が中学二年生の道徳の授業に、講師として呼んでいただき、山のごみについてお話しをさせて頂きました。その際、同窓会誌寄稿のお声かけを頂きました。貴重な機会を頂き感謝申し上げます。

私は、もともと将棋班に入部していたのですが、中学一年夏の林間学校の三瓶登山の際、助手として引率して下さったワンダーフォーゲル班（以下ワンゲル班）の先輩の姿に憧れ、中学二年から掛け持ちという形でワンゲル班に入部しました。

当時、ワンゲル班の恒例行事に、夏の中国横断と春の中国横断というのがありました。夏の中国横断は、高校部員が新任教員に声をかけ、

夏休みに修道から松江駅まで約二二〇kmを、寝袋持参でお寺のお堂に泊めてもらいながら四泊五日で歩くものです。（インターハイに出るようになってなくなったそうです）また、春の中国横断は、春休みに浜田駅から修道まで約一一五kmを、徹夜で歩き通して帰ってくるというものです。

高校生になって、私が初めて夏の中国横断に参加する際、新任教員でいらっしゃった藤田昌信先生（高34回）と一緒に歩いていただきました。元々は「ワンゲル班員が新任教員を過酷な目に遭わせシゴク」というつもりだったので、旅が始まってみると、毎朝暗いうちから藤田先生にたたき起こされ、道中も叱咤激励され、班員が見事返り討ちに遭ってしまったのでした。

それがご縁となり、次の年から藤田先生にはワンゲル班の顧問となっていたいただき、昨年度末で退職されるまで、長きにわたってワンゲル班を率いていただきました。それまでワンゲル班は体育館裏の不良のたまり場のような所でしたが、あつという間にインターハイ初出場を果たしたかと思うと、そのまま出場常連校になり、とうとう全国優勝は全国最多の六回を数えるまでに大きく成長を遂げまし



2022年度末  
中国横断にて藤田先生の後ろ姿

た。今ワンゲルOBとして大きな顔をしていられるのは、はじめに練習に励んでくれた後輩班員と、お休みと自家用車を犠牲にしたがらも班員を鍛えて下さった、顧問の先生方のお陰だと、不良時代のOBとして深く感謝申し上げます。

話が前後しますが、私が高校一年時の修道新聞に、新任教員の藤田先生が自己紹介として、学生時代にされた「自転車アメリカ大陸横断」のお話を寄稿されました。「ロッキーマ脈を越えるのに、一日中上り坂をこぎ続けた」「疲れ果てて道ばたに寝転んで、ポテトチップスを食べながら見上げた空がとて青かった」。それを読んだ私は、年の近い身近な人の経験したその光景がリアルに目に浮かんで来て、それまで本の世界でしかなかった「大陸横断」「冒険」というものが急に身近なものに感じられました。「僕にもできるかも」と思ったのを覚えています。このことはこれまでに行った「オーストラリア大陸徒歩縦断」「タクラマカン砂漠徒歩縦断」「ウユニ塩原徒歩横断」などの冒険旅の原点になりました。修道には個性的な先生が多くいらっしやう、その先生方の多様な価値観や経験談に触れることで、若く柔軟な修道生の可能性の幅が、どんどん広げられていくのだなと感じます。

藤田先生には、顧問になっていただいた後、私が高校二年を終えた春の中国横断でも一緒に歩いていただきました。私は早足で歩き、こまめに休みを取りながら歩いていたので、藤田先生は「時速五kmで歩けば二三時間



で着く」とおっしゃられ、あまり休まず歩かれていました。「数学の先生らしいなあ」と思ったのを覚えています。初めこそ私が先行していたのですが、やがて追いつかれ、広島県



2022年度末 中国横断 ゴール時の写真

が入ってから、日が暮れてからも、おいていかれないように必死で後について歩き、広島市内まで帰ってきました。今では考えられませんが、広島ICができたばかりで、周りにまだ何もなく、真つ暗で寂しかったのを覚えています。

三五年の近い長い時を経て、一昨年度末、今も続く「春の中国横断」に、再び藤田先生と共に挑みました。私の方が若いはずでしたが、高校生の時と同じく、藤田先生の後について、おいて行かれないうずと必死で歩いて歩くことに。懐かしさがこみ上げてきました。道中にはコンビニがたくさんできていて、その点は昔より歩きやすかったです。現在班員は二四時間ルールがあるので、私だけ途中離脱という形にしてみました。二七時間で修道に戻ってきました。この年現役班員によって更新された最速記録は、この半分の時間だったそうです。

藤田先生は今春長いお勤めを終えられましたが、顧問は引き続き続けて下さいます。これからワンゲル班を、皆様どうかよろしくお願致します。

## 高校67回同期会 (同窓大会決起大会)

坂本 匡弘 (高67回)

去る2024年2月23日、ひろしま国際ホテルにおいて67回同期会が開催されました。

6学年時にお世話になった先生方にもご多用の中ご参加いただき、当時の学年主任で現在修道中学校・高等学校事務長をお務めの竹川誠先生(高29回)、ならびに各担任の先生方7名とお会いすることができました。また、学年として互いが顔を合わせるイベントは2017年に我々が成人を迎えて以来となり、すっかり容貌が変わってしまったヤツ、相も変わらぬヤツ、たくさんの学友と実に7年ぶりの交流を行いました。(私は私ですっかり体重を積み上げてしまいました。)

思い返せばこの7年間、我々の世代に關しても非常に多くの出来事や変化がありました。「インスタ映え」が流行語大賞となった2017年、タナキクマル擁する広島東洋カープが球団初のセ・リーグ3連覇を達成した2018年など、華やかで嬉しい



集合写真

でも非常に多くの出来事や変化がありました。「インスタ映え」が流行語大賞となった2017年、タナキクマル擁する広島東洋カープが球団初のセ・リーグ3連覇を達成した2018年など、華やかで嬉しい

ニュースもありつつ、一方で、元号が「令和」になったかと思えば突如として社会行動を制限されてしまった2020年のコロナ禍や、オンライン中心の働き方の登場、2021年の就職活動ルール変更…。挙げればキリがなく、おそらくは平坦とは言い切れない、そんな大学から社会への過渡期を経た我々ですが、竹川先生のお話を拝聴するにつけ、修道がいつまでもどんな時も我々の背中を見守ってくれていることを再認識し、大変心強く感じました。

さて、我々67回生は2025年同窓大会の世話人として主担当を務めさせていただくこととなります。修道創設300周年という大きな節目を迎える大会ということもあり、今回の同期会にて、いま一度学年の団結を確認いたしました。当同窓大会実行委員会も大変な熱意を持って準備を行っている最中でございます。来年、卒業生の皆様も是非奮ってご参加いただければと存じます。最後に今回の同期会を企画してくれた実行委員会の皆ありがとう！各々忙しいとは思いますが、こういう会を末長く続けていければと願っています。



卒業時の学年旗への寄せ書き



竹川先生(高29回)によるご挨拶

# 修道学園同窓会連合会・修道学園(中・高)同窓会 事業報告並びに収支決算、収支予算

## 2023(令和5)年度 事業報告

2023年4月1日～2024年3月31日

### 1. 修道学園同窓会連合会

事 項	実 施 日	備 考
監査会	2023年5月31日(水)	修道中学校・修道高等学校
正副会長会議・幹事会・評議員会(6月)	2023年6月26日(月)	ひろしま国際ホテル
正副会長会議・幹事会・評議員会(3月)	2024年3月7日(水)	ひろしま国際ホテル

### 2. 修道学園(中・高)同窓会

#### (1)事業

事 項	実 施 日	備 考
正副会長会議・幹事会・評議員会(6月)	2023年6月26日(月)	ひろしま国際ホテル
会報誌「修道」№89発行	2023年9月1日(金)	
正副会長会議(9月)	2023年9月2日(土)	リーガロイヤルホテル広島
幹事会・評議員会(9月)	不開催	
講演会(眞實先生)・意見交換会	2023年9月2日(土)	リーガロイヤルホテル広島
修道学園(中・高)同窓大会	2023年9月2日(土)	リーガロイヤルホテル広島
臨時正副会長会議	2024年1月24日(水)	修道中学校・修道高等学校
第76回修道高等学校卒業式(同窓会入会式)	2024年3月2日(土)	修道中学校・修道高等学校
正副会長会議・幹事会・評議員会(3月)	2024年3月7日(水)	ひろしま国際ホテル

#### (2)同窓大会・支部・職域総会

総 会 名	開 催 日	備 考
2023年度修道学園(中・高)同窓大会	2023年9月2日(土)	リーガロイヤルホテル広島
関東支部のつどい	2023年7月10日(月)	東京ボームホテル
近畿支部総会	2023年12月3日(日)	ホテルグランヴィア大阪
九州支部総会	2023年10月21日(土)	博多八幡本店
東部支部総会	2023年10月14日(土)	福山ニューキヤッツホテル
江能修友会総会	2023年7月29日(土)	クラソビアソラホテル広島
修道医会総会	2023年11月11日(土)	ANAクラウンプラザホテル広島
広島修道産科医会総会	2024年1月25日(水)	広島市文化交流会館「観河」

#### (3)活動支援

※高校76回生に卒業記念品を贈呈

※修道中学校・修道高等学校「運動班・文化班等」の活動支援(激励費支給)

事 項	実 施 日
第11回NPJ再検討会議 第1回準備委員会への高校生派遣事業	2023年8月1日(水)～7月31日(金)
第47回全国高等学校総合文化祭「2023かごしま総文」文芸部門	2023年8月1日～8月3日
令和5年度全国高等学校総合体育大会体操競技大会・新体操大会 兼 全国高等学校体操競技大会・新体操選手権大会 兼 全国高体連体操専門部創立70周年記念大会	2023年8月2日～8月5日
2023 UCI BMXレーシングワールドチャレンジアジア大会	2023年8月6日～8月9日
第83回全国中学校水泳競技大会 競泳競技	2023年8月17日～8月19日
全国高等学校総合体育大会水泳競技大会 競泳競技	2023年8月17日～8月20日
第17回全国中学生少林寺拳法大会 男子単独演武の部	2023年8月18日～8月20日
特別国民体育大会 体操競技 男子団体	2023年9月21日～9月24日
第78回国民体育大会水泳競技大会 競泳競技	2023年9月22日～9月24日

### 3. 広島修道大学同窓会

#### (1)事業

事 項	実 施 日	備 考
第42回全国高等学校弓道選抜大会 近約競技 男子個人	2023年12月22日～12月25日	2023年12月23日・24日
第14回全国高等学校選抜アレーナシング選手権大会	2023年11月23日	2024年3月22日～3月24日
第27回全国高等学校少林寺拳法選抜大会 団体演武の部/自由組演武の部/規定組演武の部/規定単独演武の部	2023年11月4日(土)	2024年3月26日～3月29日
令和5年度全国高等学校選抜自転車競技大会 ケイリン・ロード	2023年6月10日・11日	広島修道大学ひろびろびろ さつきスチューデント隣り

#### (2)支部総会

総 会 名	開 催 日	備 考
九州修大会	2023年6月3日(土)	ホテルクリオコート博多
中部修大会	2023年6月17日(土)	ストリオンガスホテル名古屋
宇部修大会	2023年9月22日(金)	ANAクラウンプラザホテル宇部
岡山修大会	2023年11月18日(土)	アークホテル岡山
三次修大会	2024年3月2日(土)	森新
福山修大会	2023年9月2日(土)	福山ニューキヤッツホテル
関東修大会	2023年9月16日(土)	アールカティア市ヶ谷
周南修大会	2023年11月17日(日)	敦煌周南店
岩国修大会	2023年9月30日(土)	料理百果「花善」
関西修大会	2023年10月15日(日)	ハートホテル西梅田
長崎修大会	2023年10月21日(土)	長崎中華街
北海道修大会	2023年10月7日(土)	加藤商店
日本海修大会	2023年11月11日(土)	GUZEL
香川修大会	2023年12月2日(土)	ホテルレソソバンスさぬき
鹿児島修大会	2023年12月2日(土)	華蓮
愛媛修大会	2024年2月24日(土)	松山東急REホテル

### 4. 広島修道大学大学院同窓会

#### (1)事業

事 項	実 施 日	備 考
2023年度広島修道大学大学院総会	2023年7月22日(土)	広島修道大学内 フォレスト

### 5. 鈴峯同窓会

#### (1)事業

事 項	実 施 日	備 考
鈴峯同窓会総会	不開催	隔年開催のため

# 2023(令和5)年度 修道学園同窓会連合会 資金収支決算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

科目	予算	決算	差異	摘要
分担金	1,414,000	1,466,000	△52,000	@1,000円×1,466名 (中高289名、大学院26名、幹事203名)
預金利息	100	28,144	△28,044	普通預金利息・定期預金利息
雑収入	1,000	10,324	△9,324	合同懇親会 祝い金 他
小計	1,415,100	1,504,468	△89,368	
前年度繰越金	28,249,077	28,249,077	0	
収入の部 合計	29,664,177	29,753,545	△89,368	

(単位：円)

科目	予算	決算	差異	摘要
業務費	545,000	241,140	303,860	
会議費	210,000	97,970	112,030	合同会議会場代 他
通信費	130,000	78,924	51,076	合同会議案内郵便代 他
慶弔費	180,000	45,000	135,000	同窓大会祝金・永年勤続表彰記念品料
諸費	25,000	19,246	5,754	印刷代・残高証明書手数料 他
予備費	500,000	0	500,000	
小計	1,045,000	241,140	803,860	
次年度繰越金	28,619,177	29,512,405	△893,228	
支出の部 合計	29,664,177	29,753,545	△89,368	

(単位：円)

## 貸借対照表 2024年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債・正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
事業基金引当特定資産 普通預金	8,534,371 8,534,371	事業基金引当金	8,534,371
一般会計資産 普通預金 普通預金 定期預金	29,512,405 14,484,373 28,032 15,000,000	剰余金	29,512,405
合計	38,046,776	合計	38,046,776

# 2023(令和5)年度 修道学園(中・高)同窓会 資金収支決算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

科目	予算	決算	差異	摘要
入会金	813,000	807,000	6,000	@3,000円×269名(2023年度高3)
終身会費	1,897,000	1,883,000	14,000	@7,000円×269名(2023年度高3)
名簿売上代	27,500	27,500	0	@5,500円×5冊
預金利息	6,000	9,697	△3,697	普通預金利息・定期預金利息
雑収入	10,000	912,176	△902,176	2022(令和4)年度同窓大会剰余金 他
小計	2,753,500	3,639,373	△885,873	
前年度繰越金	38,109,278	38,109,278	0	
収入の部 合計	40,862,778	41,748,651	△885,873	

(単位：円)

科目	予算	決算	差異	摘要
事業費	3,340,000	2,628,097	711,903	
激励費	740,000	165,000	575,000	全国大会出場選手等への激励費
同窓大会補助金	800,000	800,000	0	2023(令和5)年度同窓大会補助金
卒業記念品料	600,000	563,097	36,903	卒業記念品
その他の事業費	1,200,000	1,100,000	100,000	会報誌89号21,500部 (寄附リフレット同封用含む)
業務費	1,790,000	1,131,649	658,351	
会議費	510,000	370,629	139,371	合同会議会場代 他
通信費	450,000	157,341	292,659	合同会議案内郵便代・電話代・宅急便代 他
慶弔費	180,000	145,000	35,000	支部総会祝金・永年勤続表彰記念品料
諸費	650,000	458,679	191,321	支部助成金・印刷代・残高証明書手数料 他
その他の支出	271,000	269,000	2,000	
連合分担金	271,000	269,000	2,000	@1,000円×269名(2023年度高3)
予備費	500,000	0	500,000	
小計	5,901,000	4,028,746	1,872,254	
次年度繰越金	34,961,778	37,719,905	△2,758,127	
支出の部 合計	40,862,778	41,748,651	△885,873	

(単位：円)

## 貸借対照表 2024年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債・正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
事業基金引当特定資産 普通預金	20,894,267 20,894,267	事業基金引当金	20,894,267
一般会計資産 普通預金 普通預金 定期預金	37,719,905 9,337,276 1,382,629 27,000,000	剰余金	37,719,905
合計	58,614,172	合計	58,614,172

# 令和5年度修道学園(中・高)同窓大会 収支決算書

2023年4月1日～2024年3月31日

(収入の部)

(単位：円)

科 目	決算額	摘 要
補助金	800,000	修道学園(中・高)同窓会より
広告収入	4,610,000	協賛広告、同期会
会員券裏面広告協賛	150,000	大方工業所
チケット	2,128,000	2023年度同窓大会 販売
祝金	200,000	修道学園、修道中学高等学校、広島修道大学、広島の祝金 修道大学同窓会、広島修道大学大学院同窓会他から
預金利息	16	広島銀行、もみじ銀行、広島信用金庫
収入の部 合計	7,886,016	

(支出の部)

(単位：円)

科 目	決算額	摘 要
大会チケット作製費	93,500	
大会誌作成費	1,683,000	
大会運営費	4,599,590	
会場費	3,462,090	
料理・室料・レセプション	1,726,000	
サービスマテリアル	246,300	
音響・映像・設営・印刷等	379,600	
消費税	235,190	
フュードプリンクプラン(税込)	875,000	
その他	1,137,500	
記念品関係支出	302,500	フランスワンインターナショナル広島店
映像作成費	650,000	ヤルキマントックス、ミヤケラム
司会謝礼	80,000	本名正憲、石田充
その他謝礼金	105,000	ヒロコシ、大谷宣至
広告宣伝費	165,000	広島朝日広告社
事務用品費	69,877	
交通費	79,920	
会議費	266,812	
郵送費	79,853	
雑費・手数料・通信費	5,764	
一般会計一部繰り入れ金	842,700	
支出の部 合計	7,886,016	

# 2024(令和6)年度 修道学園同窓会連合会 資金収支予算書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

(収入の部)

科目	予算	前年度予算	差異	摘要
分担金	1,476,000	1,414,000	62,000	各同窓会よりの分担金@1,000円×1,476名 (中高284名,大学903名,大学院5名,幹事287名)
預金利息	25,000	100	24,900	普通預金利息・定期預金利息
雑収入	1,000	1,000	0	
小計	1,502,000	1,415,100	86,900	
前年度繰越金	29,512,405	28,249,077	1,263,328	
収入の部 合計	31,014,405	29,664,177	1,350,228	

(単位:円)

(支出の部)

科目	予算	前年度予算	差異	摘要
業務費	600,000	545,000	55,000	
会議費	230,000	210,000	20,000	合同会議(6月・3月)・監査会 他
通信費	150,000	130,000	20,000	切手/ハガキ代・宅急便代 他
慶弔費	100,000	180,000	△80,000	同窓大会祝金・永年勤続表彰 他
諸費	120,000	25,000	95,000	封筒代・印刷代・事務用品 他
予備費	500,000	500,000	0	
小計	1,100,000	1,045,000	55,000	
次年度繰越金	29,914,405	28,619,177	1,295,228	
支出の部 合計	31,014,405	29,664,177	1,350,228	

(単位:円)

(注)

- △は前年度予算に比べ、減少を示す。
- 昨今の物価高騰等を考慮し、必要な科目の予算額を増額しており、2023年度3月幹事会審議にて、承認済み。

# 2024(令和6)年度 修道学園(中・高)同窓会 資金収支予算書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

(収入の部)

科目	予算	前年度予算	差異	摘要
入会金	852,000	813,000	39,000	@3,000円×284名(2024年度高3)
終身会費	1,988,000	1,897,000	91,000	@7,000円×284名(2024年度高3)
名簿売上代	27,500	27,500	0	@5,500円×5冊
預金利息	6,000	6,000	0	普通預金利息・定期預金利息
雑収入	900,000	10,000	890,000	2023年度同窓大会余剰金 他
小計	3,773,500	2,753,500	1,020,000	
前年度繰越金	37,719,905	38,109,278	△389,373	
収入の部 合計	41,493,405	40,862,778	630,627	

(単位:円)

(支出の部)

科目	予算	前年度予算	差異	摘要
事業費	1,950,000	3,340,000	△1,390,000	
激励費	500,000	740,000	△240,000	全国大会出場選手等への激励費
同窓大会補助金	200,000	800,000	△600,000	2024年度同窓大会補助金
卒業記念品料	650,000	600,000	50,000	卒業記念品
その他の事業費	600,000	1,200,000	△600,000	会報誌3,000部 他
業務費	1,810,000	1,790,000	20,000	
会議費	530,000	510,000	20,000	会議代(6月合同・9月・3月合同) 他
通信費	450,000	450,000	0	電話代・切手/ハガキ代・宅急便代 他
慶弔費	180,000	180,000	0	同窓会支部総会祝金・永年勤続表彰 他
諸費	650,000	650,000	0	支部助成金・支部総会出席者旅費補助封筒代・印刷代・事務用品 他
その他の支出	284,000	271,000	13,000	
連合分担金	284,000	271,000	13,000	@1,000円×284名(2024年度高3)
予備費	500,000	500,000	0	
小計	4,544,000	5,901,000	△1,357,000	
次年度繰越金	36,949,405	34,961,778	1,987,627	
支出の部 合計	41,493,405	40,862,778	630,627	

(注)

- △は前年度予算に比べ、減少を示す。
- 昨今の物価高騰等を考慮し、必要な科目の予算額を増額しており、2023年度3月幹事会審議にて、承認済み。

# TOPICS

## 本館建替等工事進捗

『修道学園創設300周年事業 修道中学校 修道高等学校本館建替等工事ご支援のお願い』等、本校資料をご覧になられた方には重複する部分があるかと存じますが、『修道中学校・修道高等学校本館建替その他工事』の起工式が令和4年5月2日に行われ、完成は令和7年を予定しております。

令和4年8月末『Yショップ shüDO店』オープン、令和5年7月『新敬道館』供用開始に引き続き、令和5年11月30日『新本館 供用開始式』が行われました。新しい本館には、本冊子の表紙にもなっております記念品室、展示スペースを兼ねたロビー、事務室、応接室等、様々な設備がございます。

本工事での慰霊碑移設に際し、令和6年4月19日『慰霊碑移設 御祭』、令和6年6月26日『慰霊碑移設終了奉告祭』を執り行いました。

旧本館・旧渡り廊下解体工事も完了し、今後は西敷地渡り廊下（ブリッジ）工事、北館増築・改修工事等を予定しております。

2025年の修道学園創設300周年に向け、引き続き工事等により、OBの皆様には何かとご不便をおかけしますが、ご協力の程よろしくお願いいたします。



新本館



新図書館



旧本館解体工事の様子



慰霊碑移設終了奉告祭の様子



修道広場パース図

## 修道中学校・修道高等学校創始300周年特設サイト(ホームページ)のご紹介

『修道学園創設300周年事業 修道中学校 修道高等学校本館建替等工事 ご支援のお願い』に關しまして、多大なるご寄附を賜り、誠にありがとうございます。

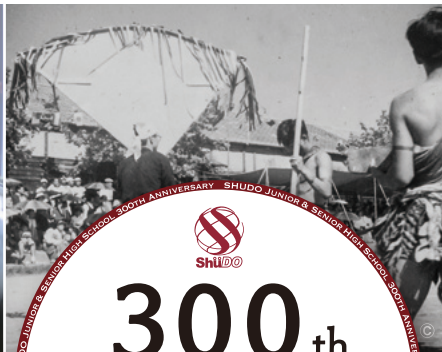
さて、本事業は同窓会ホームページとは別に、専用のホームページを公開しております。専用ホームページには、“寄附状況（毎月更新）”、“工事進捗REPORT”等を掲載しております。

是非ご覧ください。引き続き、よろしくお願いいたします。

300周年特設サイトホームページ：<https://gakugai.shudo-h.ed.jp/300th-donation/>



# 同窓会ニュース



SHUDO JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL 300th ANNIVERSARY SHUDO JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL 300th ANNIVERSARY

SHUDO

## 300<sup>th</sup> Anniversary

修道学園創設 300周年事業  
修道中学校 修道高等学校本館建替等工事

ご支援のお願い



## 新本館建設（ご寄附のお願い）

修道の校名は、広島藩12代藩主浅野長勲公が『中庸』の一節「道を修むるこれを教えという」から名付けられたものですが、その源は1725年、浅野吉長が白島の稽古屋敷に講学所を創立されたときに遡り、この長い歴史の中で、「知徳併進」の方針を掲げ「有為な人材の育成」を目指した修道教育が連綿と受け継がれて参りました。さらに、この建学の精神のもとに輩出された幾多の人材が、我が国の政治・経済・文化等幅広い分野にわたって活躍していることは、周知の事実であります。

さて、修道学園は2025（令和7）年に創立300周年を迎えます。これを記念するとともに、新しい時代の要請に応えた教育の質的向上・環境整備を図るため、老朽化の著しい本館の新築を中心とした建設計画が進められております。

長い歴史を誇る母校修道が今後も末永く繁栄し続けるため、また、誇るべき建学の精神を未来へと伝えるため、我々同窓生としても建設事業にできるだけのお手伝いをしようと考え、その切なる思いを形として表す意味で資金的な協力をお願いしたいと思います。

寄附募集のリーフレットは、写真等を差し替えて毎年作成し、ご寄附の有無に関わらず、同窓生の皆様に年1回送らせていただいております。2024年4月に送らせていただいたリーフレットが最後となります。昨今の厳しい経済事情の折り誠に恐縮に存じますが、同窓生の皆様には何とぞ趣旨にご賛同を賜り、格別のご協力をいただきますようお願い申し上げます。

### 修道学園（中・高）同窓会

三宅	緒方	貞徳	田戸	大方	鶴野	中村	廣谷	伊藤	貫名	副会長	深山	会長
泰雄	直之	伸治	幸一	徳文	富満	清	學人	賢	英樹			

詳しくは同窓会ホームページをご覧ください。  
<https://dosokai.shudo-h.ed.jp/>



# 事務局だより

## 昭和33年3月卒（10回卒）以前の写真を求めています。

### ① 卒業アルバム

2025年に創立300周年を迎えるに当たり、修道中学校・修道高等学校では、その記録を長く後生に伝えがため、現在、所蔵資料の整理確認と、紙資料のデジタルデータ化事業を進めております。

本校に残ります写真のデータ化を中心に作業を急いでおりますが、残念なことに、昭和33年3月卒業（高校10回）以前の卒業アルバムが残されておられません。

つきましては、高校10回卒以前の卒業アルバムを一時本校に預けてもよいとおっしゃる方を探しております。お預かりしたアルバムは大切に保管し、デジタルデータ化後（約1年ほど時間をいただくこととなります。）にご返却いたします。お志のある方がいらっしゃいましたら、下記「修道学園（中・高）同窓会事務局」までご連絡ください。

### ② その他写真

卒業アルバムに限らず、修道中学校・修道高等学校に関わる古い写真を求めています。お送りいただいた写真は、デジタルデータ化し、インターネット上で皆様に閲覧していただけるようアーカイブ化していく予定です。

#### 【ご注意】

1. お送りいただいた写真はご返却できません。デジタルデータ化の後、本校にて丁重に保管させていただきますので、ご了解いただける場合のみご送付ください。
2. デジタルデータは、修道中学校・修道高等学校の歴史を広くご覧いただく目的で将来公開していく予定です。公開にご了解いただける場合のみご送付ください。
3. できましたら、写真の説明（撮影年代、状況の説明など）を同封いただくと助かります。

何とぞ趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。ご不明な点がございましたら事務局までご連絡ください。

## 住所変更手続きのお願い

会員の方で住所・電話番号・勤務先・メールアドレス等変更になった方は、変更手続きをお願いします。

変更手続きは、修道学園（中・高）同窓会のホームページに掲載されております、同窓会事務局宛のメールアドレス宛に変更をご連絡いただくか、または同窓会名簿内の添付はがきで、同窓会事務局までご連絡ください。電話・FAXでも結構です。ご協力をお願いいたします。【本ページの下部を参照ください。】

## 2025年版（第38号）名簿発行のお知らせ

このたび、2025年版（第38号）同窓会名簿を発行する運びとなりました。

「安全」「正確」なデータ管理のため、同窓会を総合的にサポートする専門会社(株)サラトに業務を委託しています。同社より確認はがきや名簿購入の案内を発送して作業を進めてまいりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

- 名簿発行日：令和7年3月下旬
- 体 裁：A4判（約900頁）
- 名簿価格：6,000円（送料・税込み）

名簿作成委託先

株式会社サラト（兵庫県姫路市）のホームページ

<https://salat.co.jp/>

## ご 注 意

本同窓会の名をかたって名簿を販売するケースが頻繁に起こっています。不審なハガキや電話等にはお答えにならないようお願いいたします。同窓会が名簿を発行する場合は、必ず同窓会長名で調査を行います。

## 修道学園（中・高）同窓会事務局

〒730-0055 広島市中区南千田西町8番1号  
TEL (082) 241-6686 FAX (082) 249-0870  
E-mail : dosokai@shudo-h.ed.jp

